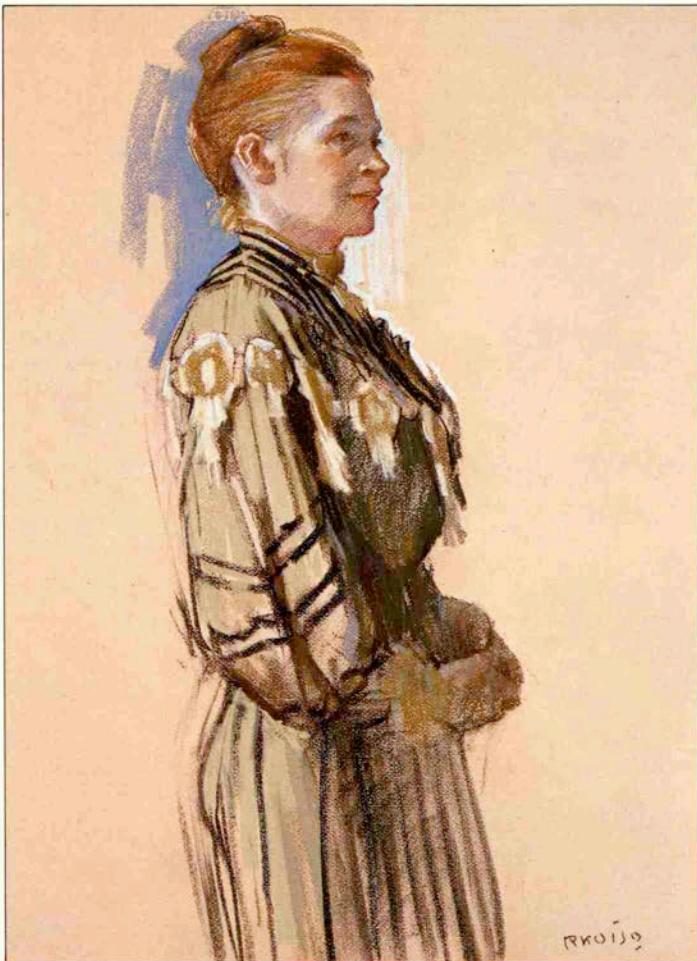


THE KOBECO 4

APRIL 1980 NO.228 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和55年4月1日印刷 通巻228号
昭和55年4月1日発行 毎月1回1日発行





 BENIYA

WEAR IS FAIR

花ひらくフェアファッション
プリマベラ
よみがえれ、春の女神

たとえばホッティエルリの描いたあの"プリマベラ"のイメージ、美のユートピアとでもいいたいような《ベニヤ》の春のコレクションです。それこそあふれる光の中に立ちつくす春の女神みたいにグレースに、あなたを絵にささげにはおかないライブなファッション、ポートピア'81への期待のように、フェアな感覚がみちみちています。



Christian Dior


the ladies fashion of the four seasons. creative beniya



美しい出逢いの光。

ふと、知り合った人、触れたものから始まるドラマ、

思えば、ほんとうに不思議なものです。

地球という星が偶然に生んだ奇蹟、宝石も、

静かにめぐり逢いを待っています。

ひとつのデザイン、慈しみ愛してくれる女性、
そして、その人のまわりで起きる素敵な出来事に。

より美しい出逢いを求めたい、

ミキモトのジュエリー。

世界の宝石店

MIKIMOTO

神戸=神戸国際会館 TEL.(078)221-0062 大阪=梅田・新阪急ビル1階 TEL.(06)341-0247 京都=河原町・BALビル4階 TEL.(075)241-2970 ©1980-4

平凡であって、非凡。淡々として、贅沢。

魂が歌いはじめるような服。

この、簡単なしかし味わい深い真理を知るまでに、

男は、ずいぶんと多くの体験と

長いまわり道を必要とするのかも知れません。

見せかけよりも“奥行き”に感動できる

ワールドのメンズファッション。ドルチェ。

DOLCE WITH MUCH INTEREST

 WORLD CO., LTD.

株式会社ワールド

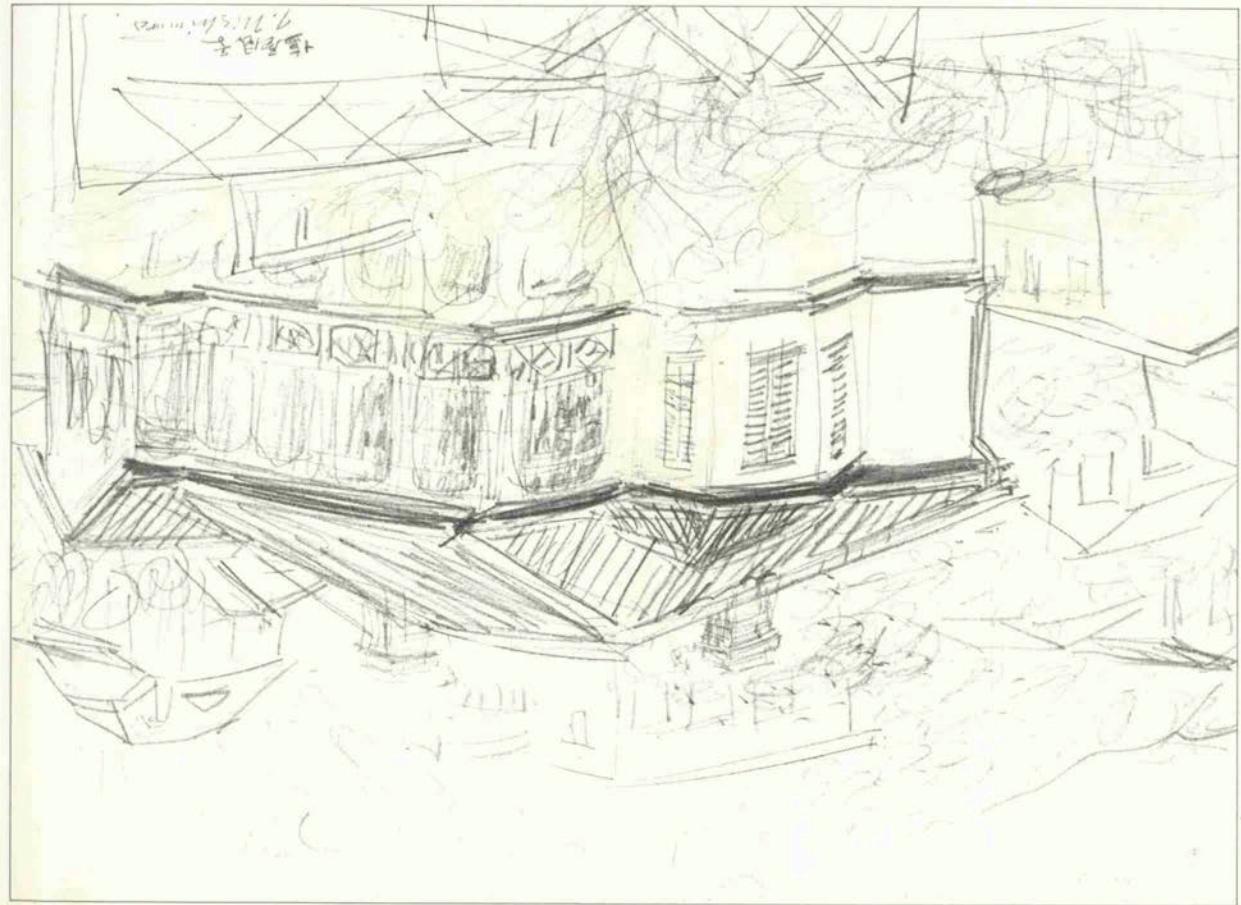
本社・神戸店/TEL.(078)251-5311



DOLCE

軽妙洒脱に、男の服

卷·西村 功



人与社会 7-8 力学 5 ● 第 16 课 磁场与电流 (16) 磁场与电流



くつろぎと語らいのひとときに

レストラン& バー ライムライム

サンサイドホテル 4F
TEL (078) 232-3331

神戸の夜景を眺めながら、あなただけのくつろぎのひとときを洗練されたインテリアで。欧風料理からコーヒーまで、お気軽にご利用いただけます。また、カウンターにはバーラウンジも用意しております。

MENU

ビーフステーキ定食 1,500円 エビフライ定食 950円

トンカツ定食 800円 ビーフステーキ丼 1,000円

A定食（スープ・おさかな・肉・サラダ・デザート・ライスorロール・コーヒー付）3,500円

B定食（スープ・アントレ・サラダ・デザート・ライスorロール・コーヒー付）2,000円

昼ランチタイムAM11:00～PM2:00 サービスランチ(日替り) 450円～600円

ステーキランチ 1,500円

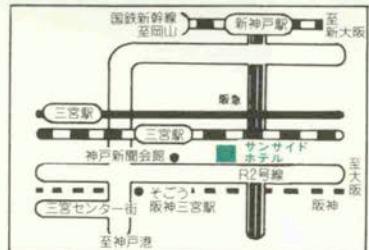
神戸の詩情との 出会い

ビジネス or レジャー

あなたのプランにくみ込める
もう一つの神戸

神戸 サンサイドホテル

神戸市葺合区雲井通4丁目7番8
TEL (078) 232-3331



●国鉄・阪神・阪急三宮駅より徒歩5分

ご案内

客室料金(全室バス・トイレ・テレビ付)

シングル 4,200円より

ダブル 7,000円

ツイン 7,400円

和室(お1人様) 4,800円

タ(お2人様) 7,000円

特別室(お2人様) 8,800円

タ(お3人様) 10,800円

サービス料・税金込

チェックインタイム 4PM

チェックアウトタイム 10AM



ひとつの宝石には、ひとつの宇宙がある。田崎真珠

札幌・東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・北九州・福岡・香港・お問い合わせ、カタログのご希望は、〒100 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル
田崎真珠販売企画室 TEL(03)580-1688まで、ご職業・お電話番号を附記してご請求ください。□あなたの真珠はパールマークの店で

Pendant:
Yellow gold,
Black opal (Boulder) and
1.32 carat diamonds
¥3,000,000
Designed By Hideji Fujii

透明な光に 鮮やかな色 心を映す



確信を持って タジマの眼が選んだ 宝石の名品

ルビー白金ダイヤリング
(ルビー4.11カラット)

宝飾店
Tajima
タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に応じてありますのでお気軽にご利用下さい。
定休日は水曜日です

デビューワン年目に賭ける

浅野ゆう子（タレント）カトリ・後藤孝

ミニスカートからカモシカのごとくスラリとキレイな足が見えるカワイコチヤン歌手としてデビューブーしたのが13才。「恋はダンダン」で49年度レコード大賞新人賞を受賞、それからは歌に、ドラマに、映画、舞台と幅広く順調な活躍ぶりで、昨夏は某化粧品メーカーのCFに167cm、B83cm、W58cm、H88cmという見事なプロポーションの水着姿で登場し話題を呼んだ。東灘の本山中学出身だがデビューワン年目に登場したが現在も実家は神戸市内にある。健康で根っからのがんばりや、そのファイトたるや並の男以上です、と所属する研音のマネージャー。「今年はデビューワン年目。私も20歳になります。何だかラッキーな年になります。頑張ります」そのとおり、1月からはTBSの人気番組サウンドインの準レギュラーに、4月に放映される2時間ドラマ「熱中時代」では水谷豊の相手役に抜擢され、アメリカ、ヨーロッパ等7カ国の海外ロケというチャンスにも恵まれた。意欲を燃やしている。

「ショッピングには東京がいいけれど、生まれ育った神戸がやっぱり好き。海も山もある不思議な街ですね。大好きなお母さんが住む街だから当然だろう。本名／赤沢裕子、昭和35年7月9日生まれ。〈北野町の神戸外国俱楽部にて〉





COFFEE SHOP

TERMINI
テルミーニ

神戸駅下りホーム東階段 営業時間7AM~8PM

テルミーニ たびだち
終着駅からの出発

ヨーロッパの駅によく見かける立ち飲みのコーヒーショップ。汽車待ちの時間に偶然並んだ男と女、そして物語りが始まります。でも駅には時はロマンの終着駅

〈テルミーニのメニュー〉

コーヒー	サンドイッチ	200円
コーラ	ハンバーガー	150円
ソーダー		

(淡路屋のお弁当も置いております)



国鉄神戸駅。昭和九年十二月に完成したレンガ造り。現在神戸市内で一番古い駅舎である。北壁のステンドグラス製の時計は、「ロマンス時計」の愛称を持つとか…。東海道線の終着駅で山陽本線の始発駅。

神戸・新神戸・六甲道

お弁当の **淡路屋**

〒650 神戸市生田区相生町2 ☎ (078) 351-1682

旅立つ人/阿江真代 協力/河野かばん店

エロスの世界をテーマに――

南

和好

（行動美術協会々員）カメラ・米田定蔵

ダンディでちょっと甘いマスク——役者にしても良さそうな——事実若い頃から芝居が好きで役者か演出家志望だったというエピソードがある。昨年は神戸高校の同窓生、小松左京氏らと一緒に文化ホールで創作劇を上演し、舞台美術を担当した。中学2年生の一人娘さんも、親の血をひいてか演劇部に入っているそうだ。県下の秀れた洋画家に贈られる金山平三記念美術賞の第五回目の受賞者、百四十点、七十名の推薦者の中から二月九日選ばれた南さんの横顔だ。受賞作「化石になつた女（遠い日の記憶）」は百号のキャンバスに裸体、貝殻、薔薇、蘭などが愛の形として象徴的に描き込まれている。「エロティシズムは僕の永遠のテーマです。自分で創りあげてきたエロスの世界を、この四年間描き続けています。テーマが受け入れられにくいだけに、認められて自信がつきました。これからもコツコツと続けていきます」と南さんの言葉。絵画にとどまらずデザイン、挿絵、舞台美術など機会があれば何でもやつていただきたい、と意欲的だ。4月23日から南さんが所属する行動美術協会の抽象派三十人で、『ART '80 KOBE』を県民会館で開く。神戸新聞社の図案課勤務で同じく二月に勤続二十年の表彰を受けたところ。昭和七年の歳男。（近代美術館にて）



Kitano Queen's Lunch

レディのためのロイヤルタイム

チューリップが咲きました。

光、うららかです。午後のひととき、
しゃれたお食事、楽しみませんか。
お誕生日の集いに、
春の日の歓談に、
ご家族、お友達、お誘い
あわせてお越しください。
本場のメニューで
お待ちしております。



ご予約はお早めに★★
☎(078)
231-2251
★★★★★★担当・坂本

4月のメニュー (TULIP LUNCH)

Terrine de Poisson Sauce Aurore

お魚のテリィース

Potage Parmentier

ジャガイモのスープ パルマンティエ
(パルマンティエはジャガイモの博士)

Poulet Basquaise

若鶏のソテーバスク風
(スペイン国境バスク地方のお料理)

Salade Verte

グリン サラダ

Kiwi Melba

キウイフルーツとアイスクリームのメルバ風

Café et Petits Fours

コーヒーと小菓子

* ロイヤルタイム—11:00AM～15:30PM

* ティータイム—11:00AM～17:00PM

Kitano Club

KITANO CLUB ON
KITANO HILLS



フランス料理の店 レストラン

北野 クラブ

神戸市生田区北野町1-64

☎(078) 231-2251



年中無休駐車場有

本格的フランス料理がお気軽に召し上がりいただけます。

restaurant Blanc de Blanc

レストラン フラントゥーブラン 神戸

神戸市生田区京町77-1 神栄ビル7F ☎(078) 321-1455

ファッションショー・展示会
などにもご利用ください。

ある集い
中内学校



新しい神戸をつくる 中内学校の生徒たち

八十年代は、地域の時代といわれる。また、文化の時代ともいわれる。神戸の経済界、経済人の行動も、その時代の流れとともに変化してきた最近のようだが、この中内学校は、昨年秋に結成された。

先月初めに年間売上げ一兆円を突破して勢いよく生活提案企業・

ダイエーの中内功社長を「校長」に、神戸の若手経済人が集う。その「生徒」数は二十四名。

月一回の予定で会が開かれ、ゲ

ストの講義を聞き、討論をかわす勉強会。今まででは生活者を抜きにしていたのではないだろうかとう経済界の反省と、神戸を地盤にしての経済人の役割を認識することを第一歩として結成された。

若手経済人といえども、神戸青年会議所や神戸商工会議所、神戸経済同友会などで大活躍のメンバーで構成されているだけに、この学校から新しい発想が生まれ、新しい神戸の街づくりへの引き金ともなる提言が起こってくるだろうとの期待がうかがえるはつらつとした学校だ。

（前列左より）薬袋公明（ゲスト）、中内功、

南部圭三、田崎俊作、稻岡必三、寺本滉、野澤太郎、玉井新吉（中列左より）瀧川博、野澤太郎、小林博司、鳥越哲、三輪吉郎、河野忠博、若林邦昌（後列左より）五代友和、有吉雄

太郎、宮田喜夫、岸本亮一、木津雅敏

（あわせて36頁もお読みください）

（敬称略）



さんプラザ店

SPRING & EARLY SUMMER

あざやかな印象残す、あなたの装い

婦人服地・婦人服飾の店



つマツヤ

*センター街店(婦人服地・お仕立) ☎ 331-1833

*さんちか店(婦人服地・オリジナルフレタボルテ・お仕立)

*さんプラザ店(オリジナルフレタボルテ)

*サンこうべ店(フレタボルテ)

*梅田阪急店(婦人服地)

*なんばCITY店(婦人服地・フレタボルテ・お仕立)



盛んな拍手を誇った華やかなフィナーレ



花束を受ける8人のモデルリスト達
小川栄・福富芳美の特別会員(中央)

80年代を揚げてKFMのショウ

コウベスナップ

未来を探る神戸シンポ開催



約800人の人たちが“勉強”

3月1日オリエンタルホテルで開かれたKFM第1回のコレクション。8人の神戸のモデルリストたちによる力作40点に、真珠業界の協賛が加わった華麗なステージ。ポートピアのプレリュードをテーマとした今回、神戸のデザイナーたちの80年代への意氣が伺えた。

「21世紀の都市と産業」をテーマにした神戸シンポジウムが2月18・19日、西山記念会館で開催され、約800人が参加。基調講演ではボールデン米コロラド大教授が種々な侧面から未来を語り、パネルディスカッションでは未来都市の機能や都市づくりが討議された。



「都市は大変化しない」と話す
K.E.ボールディング教授



宮崎

「住環境を重視した街の細胞を…」
と話す宮崎市長

神戸・画人 4 〈犬の話〉

鴨居 玲



かもい れい

一九一八年生まれる。四九年金沢美術工芸大学卒。

五二年、一紀会同人努力賞受賞。六五年南米に渡航。

六〇年第一回安井賞受賞。七一年、一紀会文部大臣

賞受賞。七四一七六年ハリ・ニューヨークで個展。

七七年第一回安井賞展審査員。七九年神戸新聞社

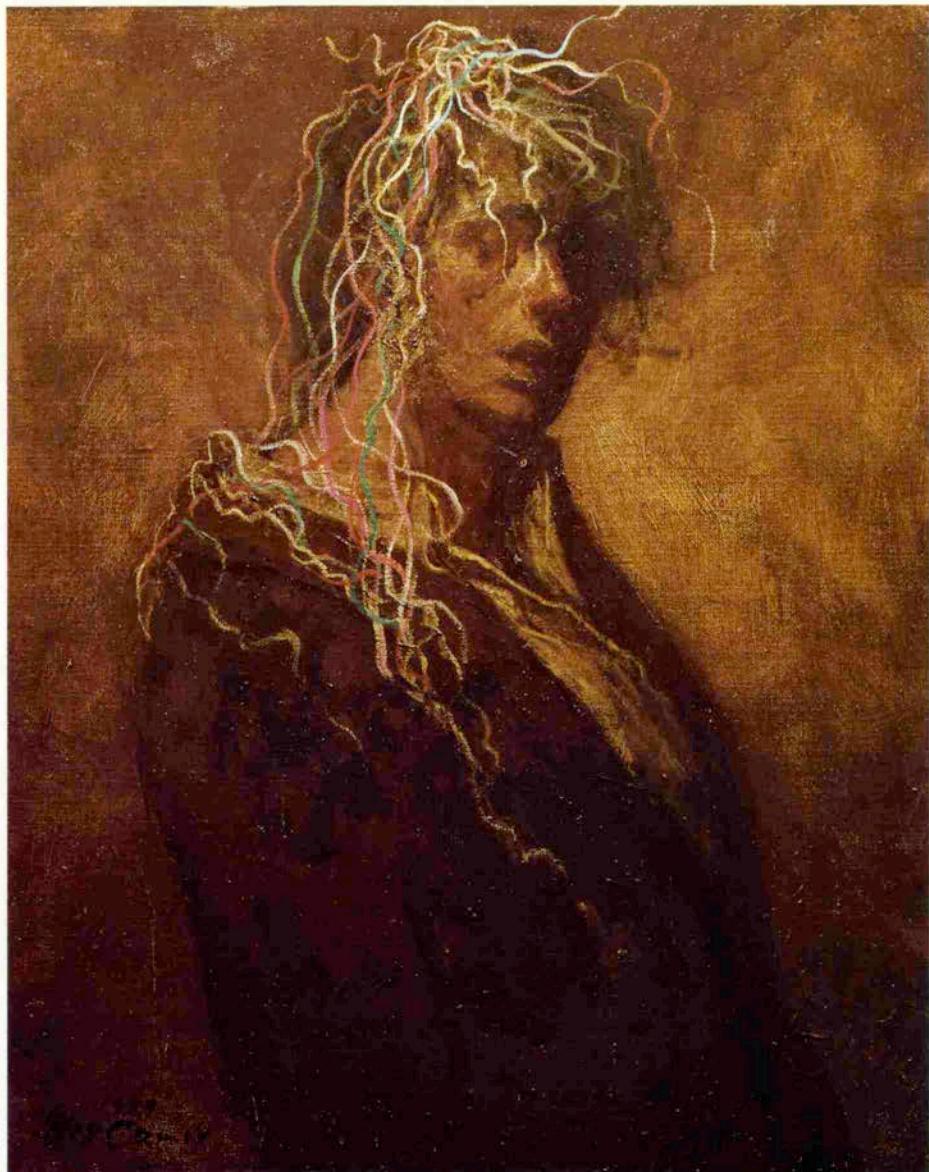
より画集出版

突然、絵とは関係のない犬の話で恐縮なのが、私、世間でいわれる程に、特別犬が好きな訳ではない。ただ犬と戯れ、同一平面上で寝食を共にしていると、良い年令をして全く恥ずかしいのだが、時々、その犬が豹となりライオンに変化し、私の心はそのライオン達と共に走り廻っているであろうアフリカの壮大な草原に飛んでいってしまうのであります。だから犬はなるべく大型で、放し飼いでなければなりません。

「犬と共に過す時が一番楽しいでしよう」等と此の頃良きいわれるが、もつともこのようない話題が出る時は、相手の話題が退屈で、私が不機嫌な顔をしている時だろうけれども、ところが、それがとんでもないこと。現在の私の子分の犬、名前は「チイタ」勿論ターザンより譲り受けた名前。体重八十kg、団体ばかり大きくて、ドジなあいつのために、楽しみどころか悩みが増えて困っているのです。

訪れて来る人は、すべて呼び鈴を押すものと決めているようで、押さずに入つて来た人には「何故だろう」と考え込んでしまい、泥棒の番も何もあつたものではない。食事の量からしましても、現在の日本では貰い手も無さそう。野良犬家業でこの世を渡つていける才覚も勿論無し、ついつい行末が案じられて、うかつにあいつより早く死ぬ訳にもゆかない等と、身軽るだつた今迄の私には初めての経験ともいえる妙な気持をこの頃味つている。

そういうえば死んだ、おつかさんも、「お前がもう少し、しつかりする迄は死に切れんー」等とよく同じような事をいつていたのを思い出し苦笑しております。



「宴のあと」
15号